

令和6年度 学習の指針(シラバス) 野田市立第一中学校

◎学年(3)学年 ◎教科(技術・家庭(家庭分野))

使用教科書	開隆堂 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生		
学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現を創造できる。		
学習計画	前期	4月 アクティブエイジング学習① 5月 高齢者疑似体験 6月 高齢者の特徴と健康 7月 実践計画 実践 9月 アクティブエイジング学習②	
	後期	10月 幼児の生活と家族 幼児の行動について 11月 幼児の心・体の発達 12月 幼児委託施設とは おもちゃ作成下調べ 1月 幼児のおもちゃ制作 2月 保育実習 まとめ	
主な活動形態や使用教材など	<p>【主な活動形態】 個人活動、グループワーク(4人・6人) ※ねらい、内容に応じて人数を変更しながら行います。</p> <p>【主な使用教材】 教科書、ノートワーク、プリント、TV、布、裁縫道具 ※ねらい、内容に応じて効果的な方法を選択します。</p>		
評価の観点別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	家族・家庭の機能について理解を深め、家族問題について生活の自立に必要な基礎的な知識が身についているか。それらに関する技能が身についているか。	・テスト ・実習の取り組み ・授業観察
	思考・判断・表現	自分自身の生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を考察し、実践しようとしているか。今後の展望を考えられているか。	・自己評価シート ・プリント内の意見や感想 ・提出物
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現に向けて、授業で得た知識・技能を生活の中で工夫し自ら、実践しているか。	・提出物 ・実習中の内容 ・授業観察	
学習についてのアドバイス	<p>【授業では】 週に一度しかありません。そのため、忘れ物がないようにし、授業に積極的に参加しましょう。家庭科では、普段の生活を振り返り、「なぜ」という疑問が生まれることを大切にしています。生活の中で出た疑問が少しずつ解決できるように知識を増やしていき、自立した中学生になれるよう授業を進めていきます。</p> <p><POINT> ・疑問に思ったことはすぐに言う。 ・仲間とのグループワークを大切に作る。 ・自信がなくても発表できるよう努力する</p> <p>【家庭では】 家庭で家事を一緒に行ってみてください。家庭科が一番理解・勉強できるのは、日常生活の中です。実際の体験談などをもとに授業に取り組むことで、楽しく勉強もできます。普段から、日常生活(料理・洗濯・家族の様子・住まいの様子・お金の使い方)を意識してみましょう。</p>		